



松本市図書館だより

平成25年11月1日発行 第8号



編集・発行 松本市図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099

図書館まつり

リサイクル本を配布いたしました!!



9月30日(月) 南部図書館、10月6日(日) あがたの森図書館、26日(土) 中央図書館、26日・27日(日) 西部図書館・波田図書館にて毎年恒例のリサイクル本の無料配布を行いました。新たに貰い手が見つかった本は喜んでいると思います。11月も下記のとおり予定しておりますので、興味のある方は是非お越し下さい。まだ見ぬ本との出会いがあるかもしれません。

今後のリサイクル本配布日程

- ・中山文庫 11月3日(日) 10:00~ ☎58-5666
 - ・島内図書館 11月3日(日) 10:30~ ☎48-2711
 - ・本郷図書館 11月10日(日) 10:00~ ☎46-1262
- ※開始時刻は予定です。詳細は各館にお問い合わせください。

リサイクル本って?

図書館の除籍本を、そのまま本として再利用します。また家庭で不要になった本の再利用をすすめるなど、環境問題への関心やリサイクルへの意識を高めます。



雨にもかかわらず、こんなに大勢の方に来ていただきました。同日行われた、鈴木ともこさんの講演会も大盛況でした!(中央)

こちらは鉄道クイズの様子。みんな真剣です。(南部)



ミニおはなし会では、松本山雅のマスコット・ガンズくんが登場。一緒におはなし会をきいたり、カウンターの仕事をしてもらいました。(中央)

各館紹介

～島内図書館～

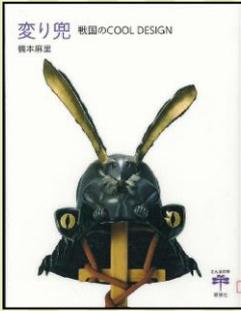
島内図書館は、市内で7番目の分館として平成13年5月に開館しました。蔵書冊数は、およそ一般書24,000冊、児童書15,000冊です。周囲に保育園、小学校、児童センター、出張所、公民館、福祉ひろばがあり、河西部の文化の拠点として子どもから高齢者まで幅広い世代の皆さんが気軽に利用できる場所にあります。

島内図書館内には「島内農業文庫室」があり、東京大学農学部長だった和田照男教授と、島内土地改良区から寄贈を受けた農業分野の専門的な資料がそろっています。寄贈の資料以外にも農業に関する資料は積極的に収集しています。館内は明るく広々としており、書架と書架の間は広く、車椅子やベビーカーの方でも利用しやすくなっています。児童コーナーにはじゅうたん敷きのスペースがあり、お子様と一緒にゆっくり本を読んだり選んだりしていただけます。

お近くにおいでの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。ご来館をお待ちしております。



今月のおすすめ本

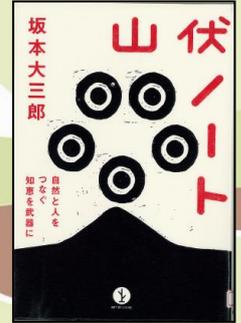


『変り兜』 橋本 麻里／著 新潮社
【756ハ 所蔵館：中央・本郷・梓川】

ムカデ、トンボ、茄子のへた、ハマグリ…これらは戦国時代の武将の兜の装飾に用いられたモチーフです。過剰な装飾のため、戦いには不向きに見える変り兜。その不思議な造形が生まれた背景には何があったのか。戦国時代の様子をわかりやすく解説しているほか、甲冑や羽織もカラー写真で紹介しています。

『山伏ノート』 坂本 大三郎／著 技術評論社
【188サ 所蔵館：中央・本郷・中山・梓川】

30歳で山伏の世界に入った著者。自然と人間の関わりを、山伏としての実体験に加え、宮沢賢治の文学や「民藝運動」を提唱した柳宗悦などの思想を交え分かりやすく解説しています。山伏とは何者なのか、著者がなぜ山伏になったのか、さらに深く知りたい方は「山伏と僕」(リトルモア 2012.4 188サ) もおすすめです。



予約本ベスト5

平成25年9月15日～
平成25年10月15日受付

一般書

- 1位 『祈りの幕が下りる時』
東野 圭吾／著、講談社
- 2位 『ロスジェネの逆襲』
池井戸 潤／著、ダイヤモンド社
- 3位 『政と源』
三浦 しをん／著、集英社
- 4位 『明治・妖(あやかし)モダン』
島中 恵／著、朝日新聞出版
- 5位 『オレたち花のバブル組』
池井戸 潤／著、文藝春秋
『オレたちバブル入行組』
池井戸 潤／著、文芸春秋

児童書

- 1位 『パンダ銭湯』
tupera tupera
／さく、絵本館
- 2位 『のせてのせて100かいだてのバス』
マイク・スミス／作、ポプラ社
- 3位 『アブナイかえりみち』
山下 孝／作、ほるぷ出版
- 4位 『からすのそばやさん』
かこ さとし／作・絵、偕成社
- 5位 『運命のウェディングドレス』
あんびる やすこ／著、岩崎書店
『恋する和パティシエール 4』
工藤 純子／作、ポプラ社
『トリックアートたからさがし』
北岡 明佳／監修、あかね書房

図書館に聞いてみよう!



【今月の事例】

祭りに使われる小道具について

Q. 祭りに使われる小道具「でんぼこ」について知りたい。

A.

まず「祭り」「道具」などのキーワードで検索し、『民族小事典神事と芸能』(吉川弘文館、2010年)や『ニッポンの名前』(淡交社、2006年)等の資料を当たってみました。しかし、「でんぼこ」やそれに似た名称のものは見当たりませんでした。

全国的な物ではなく郷土のものではないかと思い、松本市に関する物事が載っている『松本市史』を調べてみました。すると、『松本市史第3巻民族編』(松本市、1997年)の498ページに以下のような記載がありました。

「デンボコ」とは、天神祭り(びょうぶ祭り)の際に祭典年番の屋敷前に飾る、町名を記した箱の上に御幣をつけたもののこと。とあり、併せて写真も掲載されていますので、どのような形なのかも分かるようになっています。

『松本市史』には他にも、自然や歴史について書かれた巻もありますので郷土の調べ物の際にはお役立てください。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお答えしていますので、お気軽にご利用ください。

編集後記

寒暖の差が激しくなり、山も色づいてきました。沢山のイベントが行われる季節ですが、図書館のリサイクル本の配布には参加されたでしょうか。これから行う館もありますので、秋の夜長のお供を探しに是非お越しください。

